

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第230号

令和8年2月25日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：046-222-6370

子どもサイエンスフェスティバル相模原大会

令和8年1月31日(土)に相模原市立青少年学習センターで「子どもサイエンスフェスティバル」を開催しました。

相模原大会では、協議会の会員の皆さんのほか、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定されている県立高校3校を含む7つのブースの出展がありました。当日は226名(子ども116名、保護者等110名)の来場と、盛況な1日となりました。

アンケート結果は、満足度の平均が4.8(5点満点)と高い結果をいただくとともに、「子どもが科学に興味をもつきっかけになりました。また、参加したいです。」「高校生がとても親切に説明もしっかりしてくれた。普段関わりのない人とも交流でき、子どもも大満足で、非常に良いイベントだと思います。」というコメントもいただき好評でした。

高校生の出展者の多いサイエンスフェスティバルとなりましたが、合間で高校生が他の出展を見学している姿や、「あのブースが面白かったので、今度もやってみたい。」といった会話も聞かれたことが印象的でした。高校生とベテランの出展者との世代間の交流もあり、いい化学反応が起きて、今後の科学体験活動の発展につながるのではないかと感じることができました。おかげさまで、充実した「子どもサイエンスフェスティバル」となりました。

今年度4回にわたって開催された子どもサイエンスフェスティバルに出展された各団体の皆様、アシスタント及び高校生科学ボランティアの皆様に改めてお礼申し上げます。

令和7年度 子どもサイエンスフェスティバル
子どもサイエンスフェスティバル
相模原大会 実験や科学工作など、科学の不思議や
楽しさを気軽に体験できるイベントです。

日時 2026年1月31日(土) 10:00~15:00
対象 主に小学生以上(幼児・大人も入場可能)
会場 相模原市立青少年学習センター
相模原市中央区文部新町3-15

参加無料 申込不要

開催の様子



前日準備

前日にセンター職員が会場に行き、机・椅子の移動や荷物の運搬を行い、出展に向けた準備を行いました。また、1つの団体が前日準備を行いました。



開始前・開始直後の様子

10:00の開始を前に来館された方もいました。早めに来館された方には、建物内で待っていただきました。午前中に154名、午後には72名の方が入場されました。



① ホバークラフトを作って走らせてみよう (NPO 法人 神奈川県環境学習リーダー会)

地面すれすれに浮かんで走行するホバークラフトをつくりました。「ホバークラフトが遠くまで走ってすごかった！」など夢中になってオリジナルのホバークラフトを走行させていました。



② 舌はミクロの研究所 (神奈川県立厚木高等学校 スーパーサイエンス研究室)

模型を使って“味”を感じる仕組みについて説明していただきました。「高校生の皆さんが舌について、とても分かりやすく説明してくれてよく分かった。」などの声を数多くいただきました。



③ 発砲スチロールでスタンプをつくろう! (神奈川県立多摩高等学校 生物部)

発砲スチロールを溶かす成分が入っているミカンの皮を使って、オリジナルのスタンプをつくりました。「発砲スチロールがシューシュー溶けたのが不思議だった。」など、とても楽しそうに体験をしていました。



④ 絵が消える手品を作ろう～透明なもの透明なものの境目～ (川崎 哲治)

全反射の性質を利用した工作を行いました。「絵が消えるのがびっくりした。マジックみたいで楽しい。」など、驚きながら全反射の性質について学びました。



⑤ 空飛ぶ紙コップを作ろう（神奈川県立相模原高等学校 科学研究部）

マグナス効果の性質を利用した工作を行いました。空気の流れる速さの違いによって不思議な飛び方をします。「空飛ぶ紙コップがふわふわ浮ぶのが面白かった。」など、とても楽しそうに体験をしていました。



⑥ ふわっと磁石を作っておもしろ実験をしよう！（おもしろ実験・科学工作指導者セミナー修了生有志）

磁石の性質を利用した工作を行いました。「磁石の性質って面白い。磁石が浮いているのがすごい。」などの声を数多くいただきました。また、出来上がった完成品を見せてくれる参加者もいました。



⑦ 昆虫予備校（神奈川県立青少年センター 科学部）

昆虫標本の展示や顕微鏡を使って昆虫を観察しました。また、蚕の繭から絹糸をとる体験を行いました。「繭から糸を取りだすのが面白かった。1時間も頑張った！」など、夢中になって体験をしていました。

事務局から

今年度、予定していた4回の「子どもサイエンスフェスティバル」をすべて実施することができました。県内各地で子どもたちに科学のふしぎを届けることができました。これも会員のみなさまのお力添えの賜物と感謝しております。会場で、子どもたちの楽しそうな笑顔に触れ、科学体験活動の大切さを実感したところです。

次年度も会員の皆様の「子どもサイエンスフェスティバル」へのご理解とご協力をお願いします。

（事務局 千葉、山田、山口、藤野）

